



# 三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成 —

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 21 号

令和7年12月24日発行

文責 校長 米倉佳美

## 2学期終業式の日～自らを振り返り、次なる挑戦へ～

校庭の木々もすっかり葉を落とし、冬の空へと枝を伸ばしています。街にはイルミネーションが灯り、今年も残りわずかであることを実感します。この学期を大きな事故やけがなく、みなさんが元気に過ごせたことを大変嬉しく思います。

終業式では、私から次のようなことを伝えました。

2学期は、文化発表会をはじめとする様々な学校行事、また、各学年でたくさんの取組がありました。

文化発表会では、文化部はもちろんのこと、各学級でも合唱活動に取り組み、スローガン「花束」を見事に達成しました。準備から本番まで、みなさんが主体的に考え、行動し、協力し合う姿勢はとても立派でした。

生徒会役員選挙では、立候補したみなさんの「学校をよりよくしたい」という熱い思い、そのエネルギーに心が震えました。三国中の未来を託すために、投票を通じて一人ひとりが学校の運営に参加し、自分の意思を表す大切さを学ぶ機会になりました。

先生たちも、みなさんの頑張る姿を日々見守りながら、成長を感じ取ることができました。

さて、2週間前に、スウェーデンの首都ストックホルムで、ノーベル賞の授賞式が行われました。受賞したのは、生理学・医学賞の坂口 志文（さかくち しもん）さんと化学賞の北川 進（きたがわすすむ）さんです。みなさんの記憶にも新しいかもしれません。

坂口さんは、免疫についての研究で大きな成果をあげました。免疫というのは、細菌やウイルスなどの外敵をやっつけて体を守る仕組みなのですが、時々体に悪くないものを攻撃してしまうことがあります。例えば、花粉症や食物アレルギーです。坂口さんは、この免疫の暴走にブレーキをかける「制御性T細胞」を見つけました。発見当時は「そんな細胞はない」となかなか認めてもらえなかったのですが、それでも地道に研究を続け、その細胞の存在を示したのです。

もう一人の北川さんは、地球温暖化の原因になる二酸化炭素の回収など、様々な環境問題の解決につながる可能性をもった「金属有機構造体」を開発したことが評価されました。「金属有機構造体」というのは、ジャングルジムのようにつくりになっていて、無数に並んだ空間にねらった気体だけ取り込むことができるというものです。北川さんは、約20年前に内部に気体をためられることを示し、環境問題につながる発見をしましたが、当時はその可能性を信じた人は少なかったそうです。

坂口さんと北川さんに共通していることは、失敗や批判を浴びても諦めず、周りの評価より「なぜ?」「どうすれば?」などの「自分の問い」に忠実に、粘り強く取り組んだということです。病気で困っている人や温暖化などの環境問題を何とかしたいという強い思いを原点に、「進取果敢」の精神を持ち続けたことです。新しいことに果敢に挑み、失敗を恐れず、逆境を力に変える姿勢が未来を開いたのです。

みなさんも、冬休みには「自分が知りたいこと・解決したいこと・挑戦したいこと」など、「自分の問い」を一つ決めてみてください。小さなことで構いません。毎日少しずつ挑戦を続けることが、進取果敢の精神を育て、3学期には新しい自分に出会えるはずです。

挑戦は、未来の自分への贈り物です。



桜の木々は、まだ固いつぼみを抱えながら春の訪れを待っています。外からはまだ小さな変化しか見えなくても、内側では確かな力を蓄え、花開く準備をしています。その姿は、生徒のみなさんが日々の学びや活動を通して力を蓄え、やがて大きく成長していく姿と重なります。

## 福岡県中学校駅伝競走大会・福岡県中学校新人大会の結果 ～健闘をたたえます～

11月8日（土）に、福岡県中学校駅伝競走大会が、北九州市の本城公園周回コースで行われました。福岡県下から27の女子チームが参加し、白熱したレースが繰り広げられ、仲間の声援を背に力強くタスキをつなぎました。2年生 さんは、第5区の3kmを10分27秒で駆け抜け見事区間賞に輝きました。おめでとう！

福岡県中学校新人大会は、11月2日（日）に新体操大会が、福岡市香椎照葉の福岡市総合体育館で行われました。華やかな音楽に合わせた 2年生 さんのハイレベルな演技は、観客の目を釘付けにし、会場は大きな拍手と歓声に包まれていました。

11月22日（土）にソフトボール大会が、福岡市の今津運動公園で行われました。初戦は0-9と大きくリードを許しましたが、粘り強い攻撃で一気に10-9と逆転しました。その後2点を奪われ、サヨナラ負けという悔しさの残る結果となりましたが、あの追い上げは、チームの底力と団結力を証明するものでした。

12月14日（日）に剣道大会が、福岡市民体育館で行われました。選手たちは冬の厳しい寒さにも負けず、真剣な眼差しで竹刀を交え、熱戦を繰り広げました。予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントに進出、準決勝で敗れるも、見事3位という結果を収めました。この大会で選手のみなさんは、自分の持てる力を存分に発揮し、自分の役割をしっかりと果たしました。顧問の先生は、「自分のペースで試合を展開することができた。期待に応えてくれたし最高の景色を見せてくれた。」と話してありました。

どの部活動も、今後の夏の総体に向けて、一人ひとりが心身を鍛え、さらなる成長につなげていってほしいと思います。

### 福岡県中学校駅伝競走大会

|     |             |    |             |    |
|-----|-------------|----|-------------|----|
| 13位 | 第1区(3.0 km) | さん | 第2区(2.0 km) | さん |
|     | 第3区(2.0 km) | さん | 第4区(2.0 km) | さん |
|     | 第5区(3.0 km) | さん | ※区間1位       |    |

### 福岡県中学校新人大会

|        |      |                      |                  |  |
|--------|------|----------------------|------------------|--|
| 剣道男子   | 3位   | (準決勝は、vs 老司中)        |                  |  |
| ソフトボール | 惜敗   | (初戦は、vs 御陵・那珂川・太宰府中) |                  |  |
| 新体操    | 総合9位 | さん                   | (フープ 6位・ボール 12位) |  |

## 第44回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会 ～奨励賞 おめでとう！～

12月18日（木）に、1年生の さんが、第44回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会において、奨励賞という素晴らしい結果を獲得し、校長室で表彰を受けました。基本的人権の重要性をよく理解した作文であると、人権擁護委員の方から賞状を手渡していただきました。このような素晴らしいものの見方、考え方が広がっていくことを願っています。

## 中学生の未来に贈るコンサート ～プロの演奏を味わいました～

12月16日（火）に、小郡市文化会館で、「中学生の未来に贈るコンサート」が行われました。福岡県市町村振興協会の事業の一つとして、県内の中学生を対象に、3年に一度招待し開催して下さっているコンサートです。本校は、午前の部と午後の部に分かれ、1日かけて全校生徒が鑑賞しました。演奏は、九州唯一のプロオーケストラ、九州交響楽団のみなさまで、迫力あるステージに会場は大きな感動に包まれました。指揮者体験もあり、4名の生徒が代表でオーケストラの指揮をしました。CDやテレビでは味わえない生演奏に、音楽の力を改めて感じる貴重な時間となりました。